

令和4(2022)年度栃木県企業局決算の概要について

令和5(2023)年6月16日
企業局

【事業別決算概要】

(税抜)

項目 会計名	事業実績		料金(分譲)収入		純損益		貸借対照表(R5.3.31)	
	R4(2022)	R3(2021)	R4(2022)	R3(2021)	R4(2022)	R3(2021)	資産	負債 資本
電気事業 (前年度比)	販売電力量(MWh) 183,052 (100.4%)	販売電力量(MWh) 182,303	百万円 2,052 (105.1%)	百万円 1,953	百万円 63	百万円 ▲ 118	百万円 18,521	百万円 5,192 13,329
水道事業 (前年度比)	供給水量(千m3) 22,276 (100.7%)	供給水量(千m3) 22,123	1,841 (100.7%)	1,828	240 (81.1%)	296	19,551	2,684 16,867
工業用水道事業 (前年度比)	供給水量(千m3) 9,163 (100.0%)	供給水量(千m3) 9,167	513 (100.2%)	512	118 (168.6%)	70	21,116	17,755 3,361
用地造成事業 (前年度比)	分譲面積(ha) 20.7	分譲面積(ha) 0.0	3,996 (5,474.0%)	73	761	▲ 74	9,315	6,045 3,270
施設管理事業 (ゴルフ場事業) (前年度比)	年間利用者数(人) 39,005 (102.1%)	年間利用者数(人) 38,193	19 (100.0%)	19	10 (125.0%)	8	1,906	345 1,561
施設管理事業 (賃貸ビル事業) (前年度比)	賃貸面積(m ²) 2,761.32 (100.0%)	賃貸面積(m ²) 2,761.32	77 (100.0%)	77	30 (68.2%)	44	1,019	516 503

【決算の主な特徴】

○ 電気事業

- ・ 風見発電所の全面改修(R2.10～発電停止中)等により、販売電力量及び料金収入は改修前より少ない一方、FIT 適用発電所の販売電力量の増等により、損益は **6,300万円の純利益** を確保
(風見発電所発電停止期間中の累積欠損金(赤字)は、発電再開後2年程で解消できる見込み)

○ 水道事業

- ・ 供給水量及び料金収入とも、ほぼ前年度並み
- ・ マイクロ水力発電設備調査等に伴う委託や修繕費の増による営業費用の増加等により、損益は前年度比 81.1%となったが、**2億4,000万円の純利益** を確保

○ 工業用水道事業

- ・ 供給水量及び料金収入とも、ほぼ前年度並み
- ・ 退職給付費の減による営業費用の減少等により、損益は前年度比 68.6%増となり、損益は **1億1,800万円の純利益** を確保

○ 用地造成事業

- ・ 芳賀第2工業団地、大和田産業団地、ゆいの杜産業用地が完売するなど、分譲が好調だったことにより、損益は **7億6,100万円の純利益** を確保

○ 施設管理事業

- ・ ゴルフ場事業
指定管理者からの定額の納付金収入により、損益は **1,000万円の純利益** を確保
なお、コロナ禍における密を避けるスポーツとしてのゴルフ人気の高まりに加え、開場 30 周年を記念したコンペの開催をはじめとしたPRに努めた結果、過去最高となる年間利用者数39,005人を記録
- ・ 賃貸ビル事業
光熱水費の高騰、修繕費の増等の影響で損益は昨年度より減少したが、入居率 100%の維持により安定した賃貸収入を確保し **3,000万円の純利益** を確保